



2023. 6. 15

初夏のさわやかな風が谷津を渡ります。子ガエルになった小さなカエルが畔をはねたり、葉っぱの上に乗ったりするかわいい光景が見られます。夏鳥ホトトギスが鳴き、チョウやトンボが飛び交う、いつもながらの光景に心が癒されます。

### チョウ・トンボ・カエル・・・ 命が生まれ、生きものたちが にぎわう初夏の里山



キタキチョウ



ミドリヒョウモン



ヤマサナエ



ベニシジミ



ヒメウラナミジャノメ



コガネグモ



オオシオカラトンボ



ノシメトンボ



シュレーゲルアオガエル



ニホンアカガエル



カノコガ



シオカラトンボ



アキアカネ

### 初夏の風に揺れる花



ホタルブクロ



チダゲサシ



ハンゲショウ



オカトラノオ



イヌヌマトランノオ



ヌマトランノオ



ネムノキ



ムラサキシキブ



トモエソウ

### <季節メモ> イチョウウキゴケ

稲苗の間の水面に緑色の浮遊物が見られます。イチョウの葉に似たイチョウウキゴケです。日本で唯一水面に浮遊するゴケは、水質の汚れなど環境に左右されやすいこともあり、今では希少種になってしまいました。イチョウの葉のようなものは葉状体と呼び、内部に気室があり、浮力を得て水面に浮きます。裏側にはたくさんの根があり、重りの働きをして裏返らないようになっています。葉状体のわきから新しい葉状体が生長し半円以上になると分離して増えます。水上形と陸上形の2つの形態があり、稲刈り後の田んぼや湿った草地などにも生えています。



写真・編集：晝間